

読響

YOMIKYO
Yrs.
1962-2022

白鳥たちが空を旋回し、
明日への希望が降り注ぐ。

I have a dream



1994年生まれの
フィンランドの新星

©Laura Oja

FUMIAKI MIURA
Violin
EMILIA HOVING
Conductor

三浦文彰
ヴァイオリン

エミリア・ホーザイング
指揮



国際的に活躍する
気鋭ヴァイオリニスト

©Yuji Hori

ラウタヴァーラ:至福の島(日本初演)

RAUTAVAARA: Isle of Bliss (Japan Premiere)

プロコフィエフ:ヴァイオリン協奏曲第2番 ト短調 作品63

PROKOFIEV: Violin Concerto No. 2 in G minor, op. 63

シベリウス:交響曲第5番 変ホ長調 作品82

SIBELIUS Symphony No. 5
in E flat major, op. 82

読売日本交響楽団 第654回 名曲シリーズ

2022 8.18 木 19:00 サントリーホール

S¥7,600 A¥6,600 B¥5,600 C¥4,100

Popular Series, No. 654

2022 19:00
Thu 18 Aug Suntory Hall

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時・年中無休)

8月の《名曲シリーズ》を指揮するのは、1994年生まれのフィンランドの新星エミリア・ホーヴィング。サロネン、ヴァンスカ、サラステ、リントウ、マナコルダらを輩出した名教師ヨルマ・パヌラのもとで指揮を学び、2019年にはエラス＝カサドの代役として急遽フィンランド放送響とブルックナーやB.A.ツィンマーマン作品を指揮して成功を収め、国際的に脚光を浴びた若手女性指揮者です。以来、欧州の多くの楽団と共演を重ね、今後の活躍が期待されています。彼女は今回、自国の最も偉大な芸術家シベリウスの代表作と20世紀に活躍した同郷の作曲家ラウタヴァーラ作品を取り上げ、日本デビューを飾ります。

新星ホーヴィングが得意のシベリウスで 読響デビューを飾る！ 三浦文彰がプロコフィエフで エネルギーみなぎる演奏を披露！

1曲目の「至福の島」では、セリー音楽や新古典主義などから影響を受け独自の作風を確立させたラウタヴァーラによる、フィンランドの自然の壮大さと生命の息吹を感じさせる作品をお楽しみください。

後半に取り上げるのは、シベリウスの交響曲の中でも最高傑作と呼び声高い交響曲第5番。第一次世界大戦という不穏な国際情勢のもとで、また自身も作曲家として大きな苦闘を乗り越えようとする状況の中で、50歳という節目の年に生み出された作品です。初演後に大幅な改訂が重ねられたという史実からも、シベリウスの音楽や人生に対する葛藤がうかがえます。不協和音が繰り返されたのちに到達するクライマックスでは、「白鳥の賛歌」とも称される感動的なホルンの主題が響き渡り、会場に北欧の風が吹き抜けます。ホーヴィングの実直なタクトにより、シベリウス作品に込められた母国の偉大なる自然や生命の美しさへの思いが見事に引き出されるでしょう。どうぞご期待ください。

また、前半には、人気の実力派・三浦文彰が登場。フェドセーエフやドゥグメルなどの世界的名匠、そして読響とも度々共演を重ねてきた三浦が、プロコフィエフのヴァイオリン協奏曲第2番で切れ味鋭いパッセージや甘美な旋律を披露します。無機質さと叙情性が絶妙に織り交ぜられ、目まぐるしく曲調の変わる難曲で、その技巧が大いに発揮されることでしょう。



三浦文彰 ヴァイオリン

抜群のテクニックと情熱的な演奏で聴衆を魅了し、国際的に活躍する気鋭。ハノーファー国際コンクールにて史上最年少16歳で優勝。ドゥグメル、フェドセーエフ、ゲルギエフ、ズーカーマン、カンブルランらの指揮でベルリン・ドイツ響、ロサンゼルス・フィル、マリンスキー劇場管などと共演。NHK大河「真田丸」テーマ曲の演奏やTBS「情熱大陸」への出演も話題を呼んだ。18年からサントリーホールARKクラシックのアーティスティック・リーダーを務めている。21年ロイヤル・フィルのアーティスト・イン・レジデンスを務めた。22年に「フォーブス」誌の「30 Under 30 Asia(世界を変える30歳未満の30人)」に選出。CDはエイベックスよりリリース。楽器は、宗次コレクションより貸与されたストラディヴァリウス1704年製作「ヴィオッティ」。

©Yuji Hori



©Laura Oja

エミリア・ホーヴィング 指揮

欧州で注目を浴びる1994年生まれのフィンランドの新星。現在、フランス放送フィルのアシスタント・コンダクターを務め、今年3月にはベルリン・フィルハーモニーホール公演をミッコ・フランクの代役として指揮して絶賛された。シベリウス・アカデミーにてオラモとアルミラに、2015年からパヌラに師事。フィンランド放送響のアシスタントを務めていた19年5月には、エラス＝カサドの代役としてブルックナーの交響曲第2番などを急遽指揮。そのライブ映像が配信され、国際的に脚光を浴びた。これまでヘルシンキ・フィル、ロイヤル・ストックホルム・フィル、ラハティ響、タンペレ・フィルなどを指揮。21年4月に「その年に最も活躍した若手芸術家」としてフィンランド批評家協会激励賞を受賞。今回、日本デビューを果たす。

読売日本交響楽団 第654回 名曲シリーズ

2022年 8月18日(木) 19時開演

サントリーホール

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥7,600 / A ¥6,600 / B ¥5,600 / C ¥4,100

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

■学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。 ■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。 ■マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時～18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

読響ホームページ

<https://yomikyo.or.jp/>